

## 辞書の三省堂、「今年の新語2019」の一般公募を開始！

12月開催の選考発表会では鴻上尚史さんを特別ゲストに迎え、「今年の新語2019」ベスト10を発表



株式会社三省堂(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:北口克彦)は、「三省堂 辞書を編む人が選ぶ『今年の新語2019』」を実施し、その候補を9月2日(月)より募集いたします。読者の皆様と、三省堂の辞書を編む人の英知を結集し、2019年を代表・象徴する言葉で、今後の辞書に掲載されてもおかしくない言葉を選び、後世に遺します。選ばれたベスト10の言葉には、実際の国語辞典の編者が語釈を付し、12月上旬の選考発表会で発表いたします。

### ①言葉(新語)を公募します。

2019年に「よく見た」「よく聞いた」言葉をご応募ください。Webの応募フォームまたはTwitterによる投稿をお待ちしております。どなた様でも、何度ご投稿いただいてもかまいません。

### ②辞書の専門家が選び、語釈を付します。

辞書を編む専門家が選考委員となり、公平・公正な観点から「今年の新語2019」ベスト10を選定し、国語辞典としての語釈(説明)を付します。

### ③選考発表会でベスト10を発表します。

12月上旬の選考発表会で鴻上尚史さんをお迎えし、「今年の新語2019」ベスト10を発表いたします。選考結果は特設サイトでも公表し、応募者の方々に抽選でプレゼントをお贈りします。

詳しくは、下記の「今年の新語2019」特設サイトをご覧ください。

<https://dictionary.sanseido-publ.co.jp/shingo/2019/>

## 「今年の新語」とは……

この2019年を代表する言葉(日本語)で、今後の辞書に掲載されてもおかしくないものです。候補となるのは――

●「今年特に広まった」と感じられる言葉。今年誕生したかどうかは問いません。

≪昨年の例≫ 尊い、寄せる、ブラックアウト

●自分自身や周りの人が、ふだんの会話等でよく使うようになった言葉。

≪昨年の例≫ ばえる、モヤる、肉肉しい

●流行語や時事用語、新しい文物でもかまいません。

≪昨年の例≫ VTuber、マイクロプラスチック、スーパー台風

過去の選考結果と選評は下記ページをご覧ください。

<https://dictionary.sanseido-publ.co.jp/shingo/2019/archive/>

## 三省堂 辞書を編む人が選ぶ「今年の新語2019」 企画概要

- 実施概要:**三省堂が2019年を代表する新語を募集します。応募いただいた新語などから選考委員が厳正に選考の上、「今年の新語」ベスト10を選出し、国語辞典としての言葉の解説(語釈)を付けて発表します。
- 募集期間:**2019年9月2日(水)～11月13日(水)
- 応募方法:**「今年の新語2019」特設サイト(<https://dictionary.sanseido-publ.co.jp/shingo/2019/>)の応募フォームもしくはTwitterにて投稿してください。
- 選考方法:**当社刊行の4つの国語辞書『新明解国語辞典』『三省堂現代新国語辞典』『三省堂国語辞典』『大辞林』を対象に、編集委員会の先生2名と編集部から構成される「今年の新語2019選考委員会」が公平・公正な観点から厳正に選考します。
- 選考結果の発表:**2019年12月上旬開催の選考発表会で鴻上尚史さんを特別ゲストに迎え、「今年の新語2019」ベスト10を発表します。また、選考発表会終了後、「今年の新語 2019」特設サイトに選考結果を掲載します。
- 賞品:**期間中に特設サイトの応募フォームもしくはTwitterにてご投稿いただいた方の中から、抽選で50名様に図書カード1,000円分をプレゼントします。

## 三省堂 辞書を編む人が選ぶ「今年の新語2019」 選考委員のご紹介



小野 正弘

『三省堂現代新国語辞典』編集委員

1958年、岩手県一関市生まれ。東北大学大学院文学研究科国語学専攻所要単位取得済中途退学。専門は国語史(語彙・文字・意味)。現在、明治大学文学部教授、日本語学会副会長、日本近代語研究会会長。『三省堂現代新国語辞典』編集主幹。編著に『日本語オノマトベ辞典』(小学館)、共同編集に『日本近代語研究』(1～6、ひつじ書房)、著書に『オノマトベがあるから日本語は楽しい』(平凡社新書)、『くらべてわかるオノマトベ』(東洋館出版)など。

現代文・評論文を読み解くための『三省堂現代新国語辞典 第六版』

本書に関する詳しい内容は下記Webページをご覧ください。

<https://dictionary.sanseido-publ.co.jp/dict/ssd14063>



飯間 浩明

『三省堂国語辞典』編集委員

1967年、香川県高松市生まれ。早稲田大学文学研究科博士課程単位取得。NHK Eテレ「使える! 伝わる にほんご」講師など、日本語教育番組にも携わる。著書に『辞書を編む』『小説の言葉尻をとらえてみた』(以上、光文社新書)、『三省堂国語辞典のひみつ』(三省堂)、『国語辞典のゆくえ』『つまずきやすい日本語』(以上、NHK出版)、『ことばハンター』(ポプラ社)など。

現代の生きた日本語がわかる『三省堂国語辞典 第七版』

本書に関する詳しい内容は下記Webページをご覧ください。

<https://dictionary.sanseido-publ.co.jp/dict/ssd13926>



瀧本 多加志

三省堂 常務取締役出版局長

ことばの本質をとらえる『新明解国語辞典 第七版』

本書に関する詳しい内容は下記Webページをご覧ください。

<https://dictionary.sanseido-publ.co.jp/dict/ssd13107>

本格派国語辞典の最高峰『大辞林 第四版』

本書に関する詳しい内容は下記Webページをご覧ください。

<https://dictionary.sanseido-publ.co.jp/dict/ssd13906>



山本 康一

三省堂 辞書出版部長・大辞林編集部編集長

選考発表会の特別ゲストは鴻上尚史さん



作家・演出家。'81年に劇団「第三舞台」を結成。以降、作・演出を手がける。その他、エッセイスト、ラジオパーソナリティ、テレビのコメンテーター、映画監督など幅広く活動。演劇公演では、紀伊國屋演劇賞、岸田國士戯曲賞、ゴールデンアロー賞、読売文学賞などを受賞。現在は、プロデュースユニット「KOKAMI@network」と「虚構の劇団」を中心に活動。俳優育成のための活動も精力的に行う。桐朋学園芸術短期大学特別招聘教授。

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社三省堂 販売部 販売宣伝課

Tel: 03-3230-9562 E-mail: [www-info@sanseido-publ.co.jp](mailto:www-info@sanseido-publ.co.jp)